

ビエウロウのフレペール追懷錄

S K 生譯

八、ヒーケ博士の來訪

その後のことでありました、或る日の午後私は私達の間に定められてある「私用時間」に於てフレペールに私が今しがた高等學校長をして居るメルセブルグのヒーケと面會して來たこと、彼がフレペールの知遇を求めて居ること、翌日私と一緒にヒーケがマリエンタルへ來ること等を話しました。

「あゝ去年の冬私に答へよとあなたがメルセブルグから送つてお寄越しになつたあの變な問題を提出した紳士ですね」とフレペールは尋ねました。「その方なのです、近頃の學校監理者の中では最も識見に富んで一頭地を抜いて居る方です、あの方が我々の問題に興味を持つて下さると非常に私

達のために都合がよくなります」と私は答へました。

この年の二月メルセブルグに數週間滞在してフレペールの教育法に就て殆んど毎日講演を施してゐたとき最も熱心に私の講演に耳を傾けてゐた人はヒーケ博士、ウィーク博士、伯林博物館に於てフレペールの上官たりし人の兄なる盲目の老樞密顧問官ワイセ、メルセブルグで舂めてその職を奉じたる學校監理者ルユーベンシー——その外に私の友人なるカロー及び美しき同夫人——でありました。

是等の人々及びその他の人々、殊に同地の學校の先生達に親しく會ひ彼等が如何に熱心に、フレ

フレールの思想を受入れてこれを學ばんとし更にこれが範圍の擴大を望んで居ることを見た人は誰でも斯く多數の追隨者を有する割合にその主張が速かに且つ容易に認められなかつたといふことに不審を懷くでありませう、けれども茲に記した人々は眞摯にこのことに注意を向けて下さいました、而して中には新聞にこの事を書いて下さつた方もあります。この時リューベン校長はフレール伯の思想を推贊した記事をメルセブルグ週刊新聞へ發表しました。

同地からフレール伯宛てた書信は（フレール夫人がその後私に私の書信を返戻しました、この時のもその中にあつたのであります）その時の聽講者の最高最深の認識の表現を持つて居ります、その中には種々なことが記されてあります、斯ういふ文面のもあります、「哲學的修養の深いヒューケはあなたの思想及び方法に就て私という／＼深く話しました、彼はこのことは影響が頗る大で

あつてその結果を測り知ることの出来ない問題であると云ひました云々」、彼は殊に「球、立方體、圓錐の基本的觀念に興味を持ちました、而して私が彼にそれを説明してやつたときに彼は言ひました、フレール伯がこの思想を一人で表出したのならばこれは偉大なる功業と稱さるべきであります、一年と経たぬ内に彼の意見が全獨逸國中に權威を保つに至るといふやうな一般的の受容にまで急劇に進み行くといふことはフレール伯の主張に取つて可能なことであります、けれどもそのためには定期刊行物の有力な補助を必要とします、それからその刊行物の現下の政見に關する關係も忘れられてはなりません」

私はフレール伯に言ひました、「私が翌日ヒューケとウイークとに話してゐたときに彼等は彼等が日夜あなたの教育思想を考察して居ること及び彼等があなたがクローゼとヘルバルトとに如何に一致するかといふことを知らうとしてゐるといふこと

を言ひました、私は是等の質問に充分に答へることとは出来ませんでした、けれどもあなたの思想がこれらの人々の胸にもそのひらめきを見せるやうになつたのであります、而してヒーケとリニューベンはマリエンタルを訪れるとのことですからあなたが直接是等の人々に會ふならばあなたはそのことにお氣が附かれるでありません。

ヒーケは別紙に記した質問に對してあなたの回答を望んで居ります、彼は私に彼があなたを尊敬して居ること及び彼があなたの知遇を得たいと望んで居ることをあなたに通じてくれと依頼しました、彼は私の要求に應じて彼の論文二篇の登載されてある「教育月報」二部を茲に同封してあなたに送ります、彼は彼の友なるグーデにあなたの主張を知らせたいと望んで居ります、而して成るべくならあなたの口から傳へらるゝことを望んで居るのであります、その他の學校關係者も亦該問題に就てその同僚と照合し合ひました、

「それであなたはメルセブルグといふ土地は私達に好意を有することがお分りになつたでせう、而してまだ充分には分つては居りませんが兎に角私達の主張は茲に於て凱歌を奏しました、社會の上級といふものは何處でも重要事に對して裕長な冷淡なものでありますが、此所でもその例に漏れません。

私のフレーベルに送つた手紙の要領は以上に止めて置ませう、ヒーケのフレーベルに尋ねた問題は（これも亦私の手許にあります）次の如くであります——

一、一八二〇年頃に至るまで貴下の系統の發達を説明ありたし。

二、外國語を如何に利用せらるゝか、及び種々の時代に於ける外國語の順序分布を説明せられ
たし

三、オデッセイの効用の如き諸種の藝術に於け

る時代區劃的の効績を選択し、順序附け、並びにその作物の年代を擧げられたし、

四、獨逸詩人中誰々を選ばるゝや及びその順序を承りたし、

五、傳説は奈邊まで顧慮せらるべきか、及び如何なる態度を以て顧慮せらるべきか、

フレトベルは是等の問題に應答しませんでした——これは彼の従事して居る教育的分野から全く掛け離れたものであります——而して私が以前是等の問題に就て再び彼を促した際彼は是等の問題は彼の考ふる所によれば是等の間違とは違つた基礎の上に立つ彼の教育主張をもう少し深く解することによつて自から了解さるべきであらうと云々と書き送つて寄越しました。

フレトベルはこの時も同じやうなことを言ひました、而して子供らしい樸素を示しながら「學識の深い人々が私が理解して居るよりも遙かによく

理解して居ることを私に尋ねないやうにして頂きたいものです」と附加へました、

私は答へました、「學校關係者達は若しあなたの方法を採用するとなるとあなたの教育法と學校教育との結合が充分に説明せらるゝことを欲します——さうでなければ彼等はその興味を失つて了ふでせう」

「彼等は家族の父ではありませんが最も幼きものは彼等には縁の薄いものであります、而して多くの者は幼年者を方法的に感化する如何なる方法をも拒斥するのであります、

「彼等にはあなたが學校に於ける教育法を差して置いて人類發達の原理を云々するのが分らないのであります、斯ういふ考を以て尋ねられる間に對しては私は常にあなたがペスロツチの方法に協賛するものであつてあなたはたゞそれを補ひ且つそれに何物かを附加へて學校と實生活を於近き關係に持來さんとするものであるといふことを答

へてやります。」

フレーベルは言ひました、「成程、しかし私はこの目的のため何等かの方法によつて教育的作業のために學校の課業から多くの時間を取り來ることを申出でたいのです、而かも學校がすだての人が學者とならなければならず又なり得るかのやうに生徒の一生を通じて役立てるためにとて與へる知識の總高の中に救ひ認める學者達にはこのことは肯じられませんが、あなたはエムやエスがこのことに就て何と言つたかを御存じでせう、又彼等があなたに幼稚園のために骨を折らるゝことを如何に強く反對したか而して又彼等が如何にして吾人の説に半ば耳傾けんとしたる大臣ヴェーの心を翻させたかを御存じであります。」

私は答へました、「それでも大臣はそのことを知るためにあなたに會ふために此所へ來る筈です、本當に直きな來るといふ話です、けれどもあなたはヒークを今仰有つた人々と等並みに見て了つて

はいけません、彼はそんな偏屈な人間ではありません、いやそれどころか彼は寛濶な胸を持つてゐて物事に熱心になれる性質です、而してあなたは彼と話をする時彼は言語學者であり哲學者であつてあなたの所謂自然哲學者ではないといふことを忘れてはいけません」

フレーベルは彼の教育法を説明する機會が得られるとふいので訪問殊に教育者の訪問を受けることを好みました。自分の眞意を他人に了解させること尠くとも誤無く了解させることの困難な經驗に度々遭遇した結果として彼は訪問さるゝことを幾らか恐れて居りました、その上彼はこの方面の科學に於て確實な智識を欠いて居るといふことのために自分の「學者」でないといふことを感じてゐたのであります。而して是等の訪問客は皆各自の専門とする科學と彼の方法との關係の特別な研究を望むといふことはよくあることであります。

その結果或者はフレーベルに不満足を感じさせ

ます、而して彼等はフレーベルは兒童遊戯と學校の準備に順應させやうとしてこれが改善のために甚だ有効に働きつゝある所の「善人」であるがそれ以上別に大した人物ではないといふやうに相場を決めて了ひます。

他の哲學的に教育された人々は彼等の判斷の目安となるべき或る一定の哲學系統を持つて居ります、而して若しフレーベルの理論がその系統に順應してゐないときは拒斥せらるゝの他はありません。

フレーベルは斯る辯論に於て何の理解をも得ず而して一方それがために些の權威をも有してゐないといふことを知るやうな場合にはよく六ヶ敷氣にその眉を蹙めました。

相互理解に到達するための障礙となつたものは多くの場合フレーベルが彼の出發點を具象界の事物即ち客觀的にされた思想及びその内に現されてゐる神慮の法則から發して居るのに彼の反對者等

は彼等自身の自我若くは彼等の主觀的な内的經驗以外に他の出發點を承認しないことでありました。而してこれは斯くあるより外に仕方がなかつたのであります、何故ならば在來の問題の解釋——物質界若くは意識を有せざる自然と精神界若くは人類の意識ある心との結合——のために新智識を求めんとする努力は新しき道（新問題はこの新しき道に於て現れました）を開きつゝあつたからであります、これは地上に住む人類の心に與へらるゝ智識の範圍内を以てしては完全な解釋を得るまでには一世紀を要するのであります。

現象界には絶對的の反對がなくたゞ相對的の反對のみが存在し、絶對的なものはたゞ原理としてのみ存在するが故に——發達の過程の中に於ける「反對の結合」といふフレーベルの思想は殆んど常に誤解せらるゝのであります、殊に二元的世界觀を唯一の正しきものと考へてゐる人々にはよく誤解せらるゝのであります、是等の人々は概ねフレ

レーベルの理論をその出發點に就て仔細に究めもせず拒斥して了ひます、彼等は容易にフレーベルは二元論の眞理を拒みはしないがそれは眞理の一部分としてのみ認識するのであつて全き眞理としては認識してゐないといふことを知るのであります。フレーベルは寧ろ全き眞理を二元論の繰返されたる解決の中に見出すものであつて有限の事物や關係及びそれらの發達の中には決してこれを見出さないのであります。

若し是等の拒否者中の數氏がフレートベルの方法の練習に盡力したならばフレーベルの思想は今一段の理解を得たでせう、フレーベルの思想の時代思潮と悉く一致して居ることも認められたでせう、而してフレーベルの思想は今將さに形造られつゝある於高級なる世界觀のために人々を準備せしむる方法の一として歓迎せられたであります、しかし事實高等な教育を受けた人々に兒童の遊戲に傾投せよと望むことは如何に大なる要求で

ありませう。

若し夫れ是等の懷疑者達がフレートベルの書いたもの——それらは確かに斷片でもあり哲學的の警句でもあり教育學でもあります——を見ることになりますとそれは是等の偏頗な發達をした人々に取つて甚だ感心出來ないものとなるのであります、而して「何も系統が立つてゐない」「この渾一の理論なるものは哲學上の見地からは主張し難いものだ」「文體は讀むに堪えない」「原理は既にベスタロツチの唱へたものさ」「方法は大きい兒童や學校には及んでゐない」「何處か善い所がある、一寸變つた所もある、しかし混亂して居る、而して大體了解し難いものだ」云々といふやうないろいろなことを言はれたのであります。

僅かに數名の人々が不完全な表現法、非系統的なること、及び全然直覺の力の下に於てのみ生命のあるべき單なる警句的見解をも意とせず、に彼の思想の深奥の意義を探らんと努めました、是等の

少數の人々は時々彼等の根柢に横つて居る眞理によつて捉へられました、それ故に彼等は自ら欲しても欲しなくてもそれに従はねばなりませんでした。けれども多くの人々に取つては興味は一時的のものでありました、それは直きに何か他の卑近な思想問題によつて抹殺されて了ふのでありました。

その結果として個人の側に於て、否當局者の側に於て認識されて居るにも係らず主張の全部と眞意義とは依然知られませんでした、而してその弘布は殆んどたゞ幼稚園に於ける練習——主に理解されずに——を通してのみ擴つて行つたのであります。

私はヒークとマリエンタルへ連立つて行きませんでしたので彼がフレーベルに會つて後私が彼に會つたのはその次ぎの日でありました、私の豫想通り二人は全然異つた基礎に立つてゐますのでお互ひに極く少しか理解し合はなかつたのでありま

す、ヒークは心ある誰でもが感ずるやうにフレーベルが人類の福祉のために貢献し犠牲になることを喜ぶことに感動しましたけれども少しく失望を感じて居りました。

「フレーベルはベスタロッチの愛と偉大なる説服力とを備へて居ります」とヒークは言ひました、彼は又學校以前に而して學校のために兒童の天性に快適な準備を與へることの利益をも承認しました、けれども個人的自覺の起り來る以前兒童の極く初期の教育的生活の間に與へらるゝ整然たる教育的感化に大なる意義のあるといふことを彼は認めることは出来ませんでした、これは彼には殆んど空想とも見えたのであります、彼に取つては學校が教育に於ける主なる要素でありました、而して彼の意見によると彼の特に興味を感じて居る國語や審美的教養は學校に於ける教育によつてのみ得らるゝものであるといふのです。

私は言ひました、「けれども言語によつて與へら

る、以外に他の教育がありません、練習、活動といふやうなものは自己修養に俟つものでありまして學校では充分に與へることは出来ません、如何に音樂の理論に通曉してゐても實際的練習が缺けてゐては樂器を奏することは出来ません、それですから言語を以て學ばれた道德、書物から得られた道德が如何に深かくともそれは道德的生活、道德的活動力の助けにはなりません、智識と好意とだけでは水中に溺れかゝつた仲間を助け上げるに充分ではありません、泳ぎ方を知らねばなりません、此の點に教會と學校との不備は存するのであります」

ヒークは言ひました、「私はこの方面に於て何事かいなされねばならぬといふことには異議ありません、而して私はフレーベルは學校の教師と生徒との仕事を簡單にすること、身體の運動と實行の力を養成するために仕事の時間を或る程度まで短縮するこ等との今將さに着手せられんとする仕

事の手傳ひをすべく丁度いゝ時に出て來た人であると思ひます、これは殊に人民の學校に就て然りであります、フレーベルの學校園シュールバゲルンは非常に有効なものであり得ます——若しフレーベルがそのために必要な位置を大都市に於て私達に拵へてくれるならば、彼は笑ひながら附加へました。

「彼の説はこの不備に於て先づ蹉躓するでせう、學校組織を全然根柢から變へて了ふやうなこの大變化は非常な困難を含んで居て當其の多くの年月の間の努力を要するであります、尙又擬古的な學校や高等學來は此種の改革に極く少ししか與ることが出来ません」

私は答へました、「土地の問題に關してなら都市近傍の原野は耕作のために青年學生の手によつて容易に得られませう、斯くして一面に於ては勞働が省かれ他の一面に於ては青年の力が増加するでせう、而して社會的經濟は眞の利益を得るであります」

その頃——二十五年許以前——は斯る方法で幼稚園を學校園へ近づけやうといふやうな考は殆んど空想とも見られました、而して青年學生のために教場、畫室、運動場、大仕掛の旅行等を齎すといふことも亦空想たるに止つてゐたのであります。

今日では墺地利政府はあらゆる方法を盡してグイエナの教授エー、シユワツツ博士の努力を援助して居ります、而して一八七二年以來文部大臣は事情の許すかぎり各學校に幼稚園を併設せしむべき旨を視學官に諭し小學校教師にフレーベルの方法を義務的に知らしめました、而して又フレーベルの方法を神學校に於ける教育の一分科とすべく命じました。

最近二年間に多くの學校園がオーストリアン・シレシア、ローワ・オーストリア、モラヴィヤ、チロル等の各地に設立されました。セント・ペールテン及びグイエナの近傍なるノイシユタツドにも大きな學校園が作られました、其他尙ブルイエ

ン、ライバツハ、クレムス等の各地にも出來ました、それから又政治團體の立案權の下に多くの村にも設けられました。グイエナに於ける農業協會、通商組合及びその他の團體は偉大なるエネルギを以て不退轉の努力を續けるシユワツツ博士の着手せられた仕事に常に變りなく援助を與へて居りました。

農業大臣も亦土地を委託することによつて援助を與へてくれました、而して國中いづれの所からでも(ブコウイーナに至るまで)材料となるものを自由に取寄せるからお望みなさいと申出てくれました、學校の教場(此所に於て第一の實驗は爲されたのであります)の基礎のためにシヲワツツの爲した努力は同様な同情に逢ひました。

これには尙クフスタインやチロルに於けるデカンスやフェールファルテル博士の活動をも加ふべきであります、この人達は幼稚園及び幼稚園保姆のための學校の外にその土地の學校生徒のために學校園を作つてやりましたし今では現に賞讀すべき熱心を以てあらゆる方法によりこの主義のため勤めて居ります。